

大阪湾漁場環境速報

平成27年2月5日発行
兵庫のり研究所

神戸空港東ならびに大阪府沿岸域～淡路東浦志筑沖まで小型珪藻のスケルトネマの増殖が確認され、赤潮を形成していました。窒素は全域で概ね4 $\mu\text{g-at/L}$ 以上の値となっていますが、珪藻が大量発生している海域の表層で栄養塩（窒素あるいはリン）が低い値を示しています。しばらくの間、大きな時化がなく比較的穏やかであったためと思われそうですが、例年この時期は小型珪藻の発生量に大きな増減が見られる傾向にありますので、珪藻および栄養塩動向に注意が必要です。

(水温) 表層は湾内9～10℃台で、平均9.99℃。ほぼ昨年並。-10m層は平均10.6℃

(塩分) 表層平均30.95psu。-10m層平均31.92psu。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均5.5 $\mu\text{g-at/L}$ 、リン濃度は平均0.28 $\mu\text{g-at/L}$ 。-10m層(平均)は、窒素4.8 $\mu\text{g-at/L}$ 、リン0.36 $\mu\text{g-at/L}$ 。神戸空港東、大阪府沿岸～淡路志筑沖(水温9℃台、塩分が概ね30psu台以下の海域)にかけてスケルトネマが大量発生しており、一部の海域では表層の窒素・リンともに低い値を示した。他の海域においてはスケルトネマ及びそれ以外の珪藻の発生量は少なかつた。透明度は赤潮域で3.0～4.0m、その他で5.0～9.0mで平均5.7m。

上段 (今回値)	平成27年2月4日調査
中段 (昨年値)	平成26年2月10日調査
下段 (平年値)	2月上旬

調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 ($\mu\text{g-at/L}$)	磷酸 ($\mu\text{g-at/L}$)
04	10.9	32.08	4.3	0.23
	11.0	32.81	6.0	0.50
	10.5	32.65	4.7	0.42
05	10.5	31.86	4.9	0.40
	9.8	31.98	3.7	0.33
06	9.4	31.83	4.5	0.34
	10.5	31.90	5.3	0.41
07	9.8	32.06	4.3	0.41
	9.1	31.78	5.4	0.36
08	10.3	31.65	4.6	0.44
	9.4	31.79	3.0	0.25
09	9.3	31.99	3.5	0.31
	9.7	30.74	1.3	0.09
010	9.7	31.96	3.1	0.25
	10.1	32.32	3.9	0.36
012	9.8	30.80	1.5	0.13
	10.1	32.19	3.7	0.29
013D	9.9	32.33	4.4	0.39
	9.2	29.61	8.1	0.18
016	9.5	31.76	3.6	0.21
	9.0	31.75	3.7	0.21
017D	9.0	27.83	17.8	0.49
	9.2	31.28	4.4	0.19
018	8.7	31.11	6.9	0.22
	9.0	26.06	24.6	0.83
S1	9.1	31.21	4.1	0.15
	8.3	29.98	14.8	0.25
S2	9.8	31.37	4.2	0.19
	9.0	31.20	3.9	0.18
S3	8.4	28.95	18.4	0.27
	10.3	29.61	13.7	0.53
S4	8.7	28.92	25.3	0.57
	8.5	29.25	26.3	0.39
013Dおよび017D: 従来の013, 017を沖合部に移動	10.8	30.62	10.8	0.49
	8.8	29.34	15.8	0.32
04	8.6	28.02	31.4	0.56
	10.1	31.75	4.5	0.42
05	10.2	32.21	4.7	0.37
	8.7	30.98	9.3	0.29
06	10.2	31.80	4.5	0.42
	9.5	31.79	4.2	0.32
07	8.5	30.16	11.7	0.21
	9.9	30.21	8.2	0.23
08	9.9	32.07	4.1	0.33
	9.2	31.45	5.9	0.30
09	9.9	30.75	2.4	0.08
	10.8	32.56	5.0	0.44
10	10.2	32.55	4.2	0.37



